令和元年度第１回富里市男女共同参画社会づくり懇談会

議　事　録

〈日時〉令和元年６月２７日（木）

午後２時～３時４５分

〈場所〉富里市役所本庁舎３階第３会議室

■出席者

【委　員】[座長]渡邉　薫（元小学校長）

[職務代理者]秋葉　隆（富里市商工会副会長）

加藤　浩史（富里市総務部長）

佐藤　恭子（まちづくりコーディネーター）

田口　実栄子（公募委員）

本多　円佳（公募委員）

宮本　和子（富里市民生委員児童委員）

【事務局】相川企画課長，土屋副主幹，上野主査，関口主査補

【傍聴人】なし

■配布資料

⑴　令和元年度第１回富里市男女共同参画社会づくり懇談会次第

⑵　資料１　平成３０年度富里市男女共同参画計画（第２次）改訂版進捗状況について

⑶　資料２　平成３０年度富里市男女共同参画計画（第２次）改訂版進捗状況調査票

１　開会

２　市長あいさつ

３　委嘱状の交付

４　座長及び座長職務代理者の選任について

委員の互選により，渡邉委員が座長に選任された。

また,渡邉座長の指名により,秋葉委員が座長職務代理者に選任された。

５　議題

平成３０年度富里市男女共同参画計画（第２次）改訂版の進捗状況について

【事務局】資料１及び資料２に基づき説明。

【委　員】

平成３０年度の進捗状況については，全体的にＡ評価が多く良かったと考えるが，数施策がＤ評価となっているため，それについては改善を考えていかなくてはならないと思う。

この計画の実施によって，皆さんが安全に暮らしやすく生活できるような社会になるよう望んでいる。

【委　員】

達成度Ａとあるが，その施策が実行されたことによって，どのくらいの効果があって,どのくらいの人がそれによって行動を起こしたのかが気になる。

施策のとおり実施したということも大事だと思うが，実施した効果が届いてほしい人にきちんと届いているのかを知りたい。

【事務局】

委員のご意見のとおり，進捗状況として何を実施したかということだけではなく，実施した施策の効果についての検証は重要と考える。

施策の実施効果の検証としては，第２次計画（平成２５年度からの１０か年計画）の策定にあたって市民等にアンケート調査を実施し，計画の中間年である平成２９年度にも前回調査と同じ内容のアンケートを実施することで，計画開始からの５年間で市民意識がどのように変化したか等について検証を行った。その結果を反映して，今回の第２次計画改訂版が策定されている。このようなアンケート調査が毎年実施出来ればよいが，予算の都合等もあるため，今後も施策に積極的に取り組んだ上で，次期計画の策定前にはアンケート調査を実施し，施策の効果や市民ニーズ等に対応していきたいと考える。

【座　長】

点検及び評価については，まずは数値目標に向かって施策を実施し，その上で効果を検証していくということではないかと思う。

【委　員】
防犯パトロールの実施について，女性でパトロールを行っている方は何名程度いるのか。

【事務局】
防犯パトロールは,主に防犯指導員などが中心となって実施されているが,女性の人数に関する資料が手元にないため，お調べして後ほど回答させていただく。
また，あらゆる分野で女性の活躍を推進するという観点では，企画課の所管する施策の中に，審議会等の女性委員の割合について，目標数値を３割以上とすることを掲げており，現在２５％まで数値を上げてきている。

【委　員】
施策の中に，子育て世代の親が審議会等に参画しやすくするという内容があるが，各審議会の開催時間に配慮はされているのか。子どもがいる方の場合は，午後の時間は忙しく出掛けにくいと思われるが。

【委　員】
ご意見のとおり，子育て世代にぜひ参画してもらいたい審議会等については，当然のこととして開催時間などについても配慮すべきであり，審議会等を所管する課にはその点を周知する必要がある。

【委　員】
達成度がＣとなっている広聴活動の充実について，ふれあいミーティング等で市長と意見交換等をする場があっても，決められた日程に都合が合わず参加者が少なくなってしまうこともわかるが，参加者数の目標５０名に対して，３人の参加という実績は少なすぎると思う。

【事務局】
担当課からは，実績が少なかった要因として，予定していた開催が諸事情で中止となったということを聞いている。

【委　員】
平成３１年２月に開催を予定していた市民活動フェスタが，悪天候（雪）

で中止になり，同時開催を予定していたふれあいミーティングも中止となった。ただし，他の開催においても，なかなか参加者がいないという現状もある。また，人前が苦手な方もいるので，市民の方から意見をいただくツールとして，手紙やメールなどでご意見を伺う「市長への手紙」や「市政へのご意見」などを行い，広聴活動の充実を図ることが必要と考える。

【委　員】

男女共同参画の問題とは少し異なるかもしれないが，ジェンダーレスなどの考え方が世間に浸透する一方で，若い男性が外国人男性から痴漢の被害を受けたことを知り，市民の安全な生活を守る上でも，多様な性に対する正しい理解や知識を啓発することが大事だと考える。

【委　員】

市の人口及び世帯の割合としても，外国人の方が年々増加しており，それが市の特徴となってきている現状もあるので，そういった特徴に伴う様々な課題に対しても，今後考えていく必要がある。

【座長】

市には引き続き，企画課を中心として男女共同参画の推進に取り組んでいただくようお願いする。

【事務局】

先ほど防犯指導員のうち女性の人数というご質問があった件については，防犯指導員の人数９０人のうち，女性は１名ということだった。また，自主防犯パトロール隊については，担当課で把握しているのは代表者ということで，代表者７名のうち，女性は１名ということであった。

6　その他

【委　員】

DV や児童虐待の問題について，自分も当事者から相談を受けることがあり，陰で辛い思いをしている方も多いと思う。市や児童相談所などの相談機関があることはわかっていても，相談内容が関係機関で情報共有されることを不安に感じたり，今後自分や子どもがどのような立場におかれるかなどを

危惧し，なかなか相談できないという話も聞く。市は，そういう方達の声にも耳を傾けて，男女共同参画に取り組んでほしい。

7　閉会